

第五章 大学生の衣料交換会の意識への影響要因と普及可能性

5-1 はじめに

本章では、第四章で実施したアンケート調査の結果について因子分析を行うことで衣料交換会への参加に関する構成概念について明らかにする。

5-2 学生の衣料交換会の意識に関する構成概念

ここでは学生の衣料交換会の意識の構成概念を明らかにするため、衣料交換会の意識に関する考えを質問した 15 個の要因について因子分析を行う。

5-2-1 衣料交換会への意識に関する質問項目の天井効果・フロア効果

因子分析を実行する際にはアンケートに用いた尺度項目が因子分析に適切であるか、その平均値と標準偏差値から天井効果とフロア効果が発生していないことを確認する必要がある。天井効果とは回答の分布が得点の高い方向に偏ったもので、平均値と標準偏差値の合計値が尺度の取りうる最大値以上になる場合である。フロア効果（床効果）とは回答の分布が得点の低い方向に偏ったもので、平均値から標準偏差値を引いた値が尺度の取りうる最小値以下になるものである。

$$\begin{aligned} \text{天井効果} & \dots\dots\dots \text{平均値} + \text{標準偏差} < \text{最大値} \\ \text{フロア効果} & \dots\dots\dots \text{平均値} - \text{標準偏差} > \text{最小値} \end{aligned}$$

衣料交換会への意識に関する質問項目の平均値と標準偏差値から天井効果・フロア効果を求めた（表 5-1）。

その結果、要因 1「長い期間、衣料を衣料として着ることは良いと考える」についてはフロア効果が 0.72、要因 3「交換会ではほぼ無料で衣料がもらえるため経済的に助かる」についてはフロア効果が 0.98、要因 14「長い期間、衣料を衣料として着ることは環境に良いと考える」については 0.87 となったため、これらの項目については除外して因子分析を実行した。

表 5-1 各項目の平均値・標準偏差・天上効果・フロア効果

	標準偏差	平均値	最大値	最小値	天井効果	フロア効果
要因 1	0.62	1.34	5.00	1.00	1.95	0.72
要因 2	1.07	2.85	5.00	1.00	3.92	1.78
要因 3	1.07	2.05	5.00	1.00	3.11	0.98
要因 4	0.93	3.87	5.00	1.00	4.80	2.93
要因 5	1.07	2.42	5.00	1.00	3.49	1.36
要因 6	1.04	2.25	5.00	1.00	3.28	1.21
要因 7	1.28	2.77	5.00	1.00	4.05	1.49
要因 8	1.01	2.41	5.00	1.00	3.42	1.40
要因 9	1.32	3.02	5.00	1.00	4.34	1.70
要因 10	1.14	2.86	5.00	1.00	4.00	1.71
要因 11	1.11	2.73	5.00	1.00	3.85	1.62
要因 12	0.77	1.91	5.00	1.00	2.68	1.14
要因 13	1.06	3.14	5.00	1.00	4.20	2.08
要因 14	0.79	1.67	5.00	1.00	2.46	0.88
要因 15	1.12	2.16	5.00	1.00	3.29	1.04

5-2-2 逆転項目の処理

表 5-2 のよう要因 5「自分が処分したいと思う衣料が他人に喜ばれるのか自信がない。」と要因 9「衣料を持ち帰った場合、衣料の前回の持ち主に会うと気まずいと思う。」の回答を逆転処理して、分析を行った。

表 5-2 逆転項目の処理

	質問項目	当てはまる	当てはまらない
要因 1	長い期間、衣料を衣料として着ることは良いと考える。	1	5
要因 2	使用していない衣料があることは環境に悪いと思う。	1	5
要因 3	交換会ではほぼ無料で衣料がもらえるため経済的に助かる。	1	5
要因 4	交換会に衣料を持っていくことは経済的にもつたいないと思う。	1	5
要因 5	自分が処分したいと思う衣料が他人に喜ばれるのか自信がない。	5	1
要因 6	掘り出し物を見つけられると思う。	1	5
要因 7	他人の着た服を着ることに抵抗を感じる。	1	5
要因 8	交換会に出されている衣料は見た目が汚れていたりよれていたりしていそうだと思う。	1	5
要因 9	衣料を持ち帰った場合、衣料の前の持ち主に会うと気まずいと思う。	5	1
要因 10	エピソードタグが付いているので大切にしようと思う。	1	5
要因 11	衣料交換会に出される服に、エピソードタグを付けることは、交換会の普及につながると思う。	1	5
要因 12	気軽に衣料を処分し持ち帰れるから良いと思う。	1	5
要因 13	開催日が決まっているので不便であると思う。	1	5
要因 14	長い期間、衣料を衣料として着ることは環境に良いと考える。	1	5
要因 15	ファッションに興味がある	1	5
項目 16	今後、衣料交換会があれば参加したいと思いますか	1	5
項目 17	不要になった衣料を交換会に持ち寄りたいと思いますか	1	5
項目 18	他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持って帰りたいと思いますか	1	5

5-2-3 因子分析の結果

因子数は、固有値と累積寄与率を確認し決定した。累積寄与率が良好とされる 50.00%を上回ったのは因子 4 である (図 5-1)。よって、因子数は 4 であることが適切である。

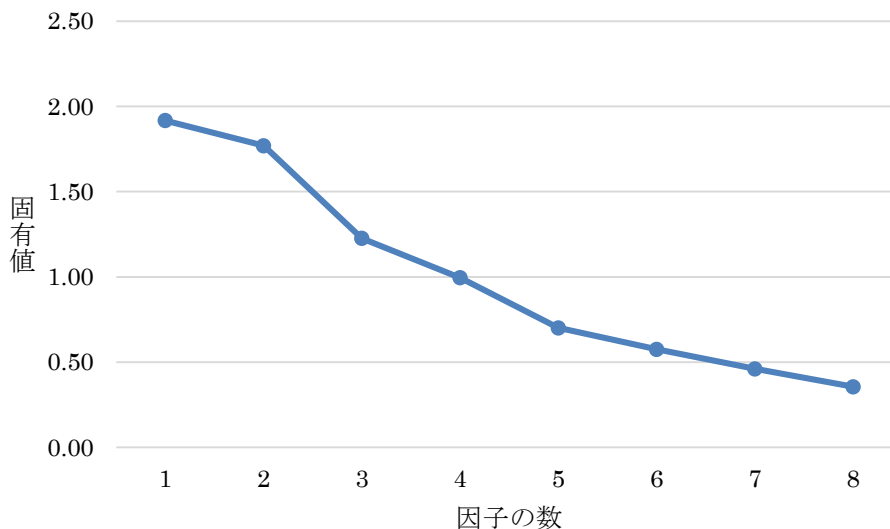


図 5-1 因子の数と固有値

因子分析にはエミス社の Excel 多変量解析 ver.6 を用いた。因子数は 4 とし、因子負荷量 0.35 以上のものを因子として利用し、回転方法はバリックス法を選択し、因子分析を実行した。その結果、累積寄与率は 54.58%となり、良好とされる 50.00%を上回った。分析の結果、因子として採用された尺度項目を表 5-3 に示す。

因子 1 は事前に想定した構成概念「社会性」のうち、タグに関する内容の 2 つの項目が採用された。そこで因子 1 を【社会性因子】とした。

因子 2 は事前に想定した構成概念「衛生性」を構成するものと同じ項目が採用された。そこで因子 2 を、衣料交換会の参加するうえで衛生性を考える【衛生性因子】とした。

因子 3 は事前に想定した構成概念「利便性」を構成する項目 13「開催日が決まっているので不便であると思う」、構成概念「環境性」を構成する項目 2「使用していない衣料があることは環境に悪いと思う」、構成概念「経済性」を構成する項目 4「交換会に衣料を持っていくことは経済的にもったいないと思う」が採用された。そこでもっとも因子得点が高い項目 13 を用いて、因子 3 を衣料交換会の開催日程によって参加するかを考える【開催日程因子】とした。

因子 4 は事前に想定した構成概念「利便性」を構成する項目 12「気軽に衣料を処分し持ち帰れるから良いと思う」、構成概念「経済性」を構成する項目 4「交換会に衣料を持っていくことは経済的にもったいないと思う」が採用された。そこで因子 4 を、衣料交換会に衣料の処分や入手の手段の場を求める【衣料入手手段因子】とした。

表 5-3 採用された尺度項目

	因子 1	因子 2	因子 3	因子 4
要因 10	0.786	-0.056	-0.004	0.055
要因 11	0.763	-0.059	0.197	0.094
要因 8	-0.098	0.734	0.204	0.038
要因 7	-0.019	0.702	-0.076	-0.202
要因 13	0.047	0.089	0.647	-0.100
要因 2	0.061	0.006	0.448	-0.037
要因 12	0.209	-0.125	-0.025	0.657
要因 4	0.093	0.027	0.377	-0.489

5-2-4 分析に当たり消去した項目

分析にあたり、要因 5「自分が処分したいと思う衣料が他人に喜ばれるのか自身がない」、要因 6「掘り出し物を見つけられると思う」、要因 9「衣料を持ち帰った場合、衣料の前の持ち主に会うと気まずいと思う」、要因 15「ファッションに興味がある」は因子として採用しないこととした。これらの項目は因子負荷量が 0.35 未満のためである。

5-3 重回帰分析

5-3-1 重回帰分析の説明変数と目的変数

分析に用いる説明変数は、因子分析で求められた 4 つの因子【社会性因子】、【衛生性因子】、【開催日程因子】、【衣料入手手段因子】と 4 つの因子の他に性別、居住形態、所属学部を用いた。性別は男性が 0、女性が 1 とし、居住形態は下宿生が 0、自宅生が 1 とし、所属学部は環境科学部を 0、その他の学部を 1 として分析を行った。

目的変数はアンケートの項目 16、項目 17、項目 18 として 3 つの重回帰分析を行った。

5-3-2 項目 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」についての重回帰分析

まず、目的変数を項目 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」として重回帰分析を行って、表 5-4 のような結果が得られた。衣料交換会への参加意識に影響を与えている要因として、「1%有意」の強い相関があるもので、「因子 1 (社会性因子)」「因子 2 (衛生性因子)」「因子 3 (開催日程因子)」「因子 4 (衣料入手手段因子)」「居住形態」の 5 つが挙げられた。

因子 1 の社会性が高いほど参加意欲は高まる。因子 3 の開催日への意識が高いほど参加意欲が高まる。因子 4 の衣料交換会に衣料の入手手段を求めている方が参加意欲は高まる。居住形態が下宿生である方が参加意欲は高まる。また、因子 2 の衛生性が高いほど参加意欲は縮小する。

一方、相関が認められなかった項目は、「性別」「所属学部」が挙げられた。

表 5-4 項目 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」についての

重回帰分析 (n=182)

基本統計量

変数名	n=182		
	合計	平均	標準偏差
因子1	-5.551E-16	-3.1E-18	0.868409
因子2	5.8842E-15	3.23E-17	0.833574
因子3	9.77E-15	5.37E-17	0.750157
居住形態	109	0.598901	0.491473
因子4	5.5511E-16	3.05E-18	0.741161
性別	92	0.505495	0.501349
⑩	510	2.802198	1.153613

相関行列

	因子1	因子2	因子3	居住形態	因子4	性別	⑩
因子1	1	-0.046	0.095	-0.102	0.084	0.028	0.284
因子2	-0.046	1	0.069	-0.067	-0.074	0.116	-0.274
因子3	0.095	0.069	1	-0.063	-0.130	0.117	0.212
居住形態	-0.102	-0.067	-0.063	1	-0.120	0.043	0.171
因子4	0.084	-0.074	-0.130	-0.120	1	-0.222	0.190
性別	0.028	0.116	0.117	0.043	-0.222	1	-0.122
⑩	0.284	-0.274	0.212	0.171	0.190	-0.122	1

分析精度

決定係数	0.279
自由度修正済み決定係数	0.254
ダーヴィンワトソン比	1.886
残差の標準偏差	0.996

分散分析表

変動	偏差平方和	自由度	不偏分散	分散比	p値	判定
全体変動	240.879121	181				
回帰による変動	67.148753	6	11.19146	11.27325	0.000	**
回帰からの残差変動	173.730368	175	0.992745			

重回帰式

	偏回帰係数	標準偏回帰係数	F値	p値	判定	標準誤差	偏回帰係数の95%信頼区間		
							下限値	上限値	VIF
因子1	0.343	0.258	15.679	0.000	**	0.087	0.172	0.514	1.03
因子2	-0.331	-0.239	13.471	0.000	**	0.090	-0.508	-0.153	1.03
因子3	0.390	0.254	14.954	0.000	**	0.101	0.191	0.590	1.05
居住形態	0.527	0.224	11.786	0.001	**	0.153	0.224	0.829	1.04
因子4	0.294	0.189	7.911	0.005	**	0.104	0.088	0.500	1.09
性別	-0.228	-0.099	2.226	0.138	[]	0.153	-0.531	0.074	1.07
定数項	2.602		349.476	0.000	**	0.139	2.328	2.877	

5-3-3 項目 17「不要になった衣料を交換会に持ち寄りたいと思う」についての重回帰分析

目的変数を項目 17「不要になった衣料を交換会に持ち寄りたいと思う」として重回帰分析を行って、表 5-5 のような結果が得られた。衣料交換会への参加意識に影響を与えている要因として、「1%有意」の強い相関があるもので、「因子 1 (社会性因子)」「因子 2 (衛生性因子)」「因子 3 (開催日程因子)」「因子 4 (衣料入手手段因子)」の 4 つが挙げられた。また、「5%有意」の相関があるものは「居住形態」の 1 つが挙げられた。

因子 1 の社会性が高いほど参加意欲は高まる。因子 3 の開催日への意識が高いほど参加意欲が高まる。因子 4 の衣料交換会に衣料の入手手段を求めている方が参加意欲は高まる。居住形態が下宿生である方が参加意欲は高まる。また、因子 2 の衛生性が高いほど参加意欲は縮小する。

一方、相関が認められなかった項目は、「性別」「所属学部」が挙げられた。

表 5-5 項目 17「不要になった衣料を交換会に持ち寄りたいと思う」についての

重回帰分析 (n=182)

基本統計量

変数名	n=182		
	合計	平均	標準偏差
因子4	5.551E-16	3.05E-18	0.741161
因子2	5.884E-15	3.23E-17	0.833574
因子1	-5.55E-16	-3.1E-18	0.868409
因子3	9.77E-15	5.37E-17	0.750157
居住形態	109	0.598901	0.491473
性別	92	0.505495	0.501349
⑰	504	2.769231	1.132902

相関行列

	因子4	因子2	因子1	因子3	居住形態	性別	⑰
因子4	1	-0.074	0.084	-0.130	-0.120	-0.222	0.270
因子2	-0.074	1	-0.046	0.069	-0.067	0.116	-0.260
因子1	0.084	-0.046	1	0.095	-0.102	0.028	0.228
因子3	-0.130	0.069	0.095	1	-0.063	0.117	0.140
居住形態	-0.120	-0.067	-0.102	-0.063	1	0.043	0.101
性別	-0.222	0.116	0.028	0.117	0.043	1	-0.173
⑰	0.270	-0.260	0.228	0.140	0.101	-0.173	1

分析精度

決定係数	0.235
自由度修正済み決定係数	0.209
ダーヴィンワトソン比	1.988
残差の標準偏差	1.008

分散分析表

変動	偏差平方和	自由度	不偏分散	分散比	p値	判定
全体変動	232.30769	181				
回帰による変動	54.658132	6	9.109689	8.973822	0.000	**
回帰からの残差変動	177.64956	175	1.01514			

重回帰式

	偏回帰係数	標準偏回帰係数	F値	p値	判定	標準誤差	偏回帰係数の95%信頼区間		
							下限値	上限値	VIF
因子4	0.387	0.253	13.445	0.000	**	0.106	0.179	0.595	1.09
因子2	-0.300	-0.221	10.865	0.001	**	0.091	-0.480	-0.120	1.03
因子1	0.257	0.197	8.601	0.004	**	0.088	0.084	0.430	1.03
因子3	0.293	0.194	8.245	0.005	**	0.102	0.092	0.494	1.05
居住形態	0.355	0.154	5.239	0.023	*]	0.155	0.049	0.661	1.04
性別	-0.284	-0.126	3.375	0.068	[]	0.155	-0.590	0.021	1.07
定数項	2.700		368.016	0.000	**	0.141	2.423	2.978	

5-3-4 項目 18 「他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持ち帰りたいと思う」についての重回帰分析

目的変数を項目 18 「他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持ち帰りたいと思う」として重回帰分析を行って、表 5-6 のような結果が得られた。衣料交換会への参加意識に影響を与えている要因として、「1%有意」の強い相関があるもので、「因子 2 (衛生性因子)」「因子 3 (開催日程因子)」の 2 つが挙げられた。また「5%有意」の相関があるもので、「因子 1 (社会性因子)」「因子 4 (衣料処分入手因子)」が挙げられた。

因子 1 の社会性が高いほど参加意欲は高まる。因子 3 の開催日への意識が高いほど参加意欲が高まる。因子 4 の衣料交換会に衣料の入手手段を求めている方が参加意欲は高まるまた、因子 2 の衛生性が高いほど参加意欲は縮小する。

一方、相関が認められなかった項目は、「居住形態」「性別」「所属学部」が挙げられた。

表 5-6 項目 18 「他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持ち帰りたいと思う」に

についての重回帰分析 (n=182)

変数名	合計	平均	標準偏差
因子2	5.884E-15	3.23E-17	0.833574
因子3	9.77E-15	5.37E-17	0.750157
因子4	5.551E-16	3.05E-18	0.741161
因子1	-5.55E-16	-3.1E-18	0.868409
⑩	525	2.884615	1.123769

	因子2	因子3	因子4	因子1	⑩
因子2	1	0.069	-0.074	-0.046	-0.376
因子3	0.069	1	-0.130	0.095	0.157
因子4	-0.074	-0.130	1	0.084	0.166
因子1	-0.046	0.095	0.084	1	0.192
⑩	-0.376	0.157	0.166	0.192	1

決定係数	0.222
自由度修正済み決定係数	0.204
ダーウィンワトソン比	2.037
残差の標準偏差	1.002

変動	偏差平方和	自由度	不偏分散	分散比	p値	判定
全体変動	228.57692	181				
回帰による変動	50.707551	4	12.67689	12.61493	0.000	**
回帰からの残差変動	177.86937	177	1.004912			

	偏回帰係数	標準偏回帰係数	F値	p値	判定	標準誤差	偏回帰係数の95%信頼区間		
							下限値	上限値	VIF
因子2	-0.501	-0.371	31.006	0.000	**	0.090	-0.678	-0.323	1.01
因子3	0.282	0.188	7.796	0.006	**	0.101	0.083	0.481	1.03
因子4	0.229	0.151	5.031	0.026	*	0.102	0.028	0.430	1.03
因子1	0.186	0.144	4.615	0.033	*	0.087	0.015	0.357	1.02
定数項	2.885		1507.021	0.000	**	0.074	2.738	3.031	

5-3-5 重回帰分析のまとめ

項目 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」に影響を与えている項目として、「1%有意」の強い相関があるもので、「因子 1 (社会性因子)」「因子 2 (衛生性因子)」「因子 3 (開催日程因子)」「因子 4 (衣料入手手段因子)」「居住形態」の 5 つが挙げられた。

よって、因子 1 の社会性が高いほど参加意欲は高まる。因子 3 の開催日への意識が高いほど参加意欲が高まる。因子 4 の衣料交換会に衣料の入手手段を求めている方が参加意欲は高まる。居住形態が下宿生である方が参加意欲は高まる。また、因子 2 の衛生性が高いほど参加意欲は縮小する。

項目 17「不要になった衣料を交換会に持ち寄りたいと思う」に影響を与えている項目として、「1%有意」の強い相関があるもので、「因子 1 (社会性因子)」「因子 2 (衛生性因子)」「因子 3 (開催日程因子)」「因子 4 (衣料入手手段因子)」の 4 つが挙げられた。また、「5%有意」の相関があるものは「居住形態」の 1 つが挙げられた。

よって、因子 1 の社会性が高いほど参加意欲は高まる。因子 3 の開催日への意識が高いほど参加意欲が高まる。因子 4 の衣料交換会に衣料の入手手段を求めている方が参加意欲は高まる。居住形態が下宿生である方が参加意欲は高まる。また、因子 2 の衛生性が高いほど

ど参加意欲は縮小する。

項目 18「他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持って帰りたいと思う」に影響を与えている項目として、「1%有意」の強い相関があるもので、「因子 2（衛生性因子）」「因子 3（開催日程因子）」の 2 つが挙げられた。また「5%有意」の相関があるもので、「因子 1（社会性因子）」「因子 4（衣料処分入手因子）」が挙げられた。

よって、因子 1 の社会性が高いほど参加意欲は高まる。因子 3 の開催日への意識が高いほど参加意欲が高まる。因子 4 の衣料交換会に衣料の入手手段を求めている方が参加意欲は高まるまた、因子 2 の衛生性が高いほど参加意欲は縮小する。

5-4 クロス集計

ここでは、アンケートの項目 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」、項目 17「不要になった衣料を交換会に持ち寄りたいと思う」、項目 18「他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持って帰りたいと思う」の回答で、1（当てはまる）、2（少し当てはまる）、3（どちらでもない）のいずれかに回答した人のうち、アンケートのⅢとⅣの回答の傾向について分析する。

5-4-1 項目 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」とアンケートⅢのクロス集計結果

5-4-1-1 項目 16 で 1～3 の回答と持ち寄りたい衣料のクロス集計

衣料交換会への参加意欲が比較的にあると思われる、項目 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」で 1～3 を回答した回答者のみで、行った集計を表 5-7、表 5-8、表 5-9 に示す。

その結果、持ち寄りたいシャツの購入時に値段は、全体のクロス集計よりも多い 99%以上が「～3000 円」「3001～7000 円」の選択肢に多くの回答が集まった。

持ち寄りたいコートの購入時の値段は、最低価格帯の「～10000 円」では比率が減ったが、「～10000 円」「10001 円～20000 円」では、95%を超える結果となった。

持ち寄りたいパンツ、ズボンの購入時の値段も「～5000 円」、「5001 円～10000 円」の回答率が、全体よりも多い結果となった。

表 5-7 アンケートの要因 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」の

1～3の回答と持ち寄りたいと思うシャツ（カッターシャツ、ブラウスなど）の
購入時の値段のクロス集計（人）（n=120）

項目 16 の回答	～3000 円	3001～ 7000 円	7001～ 17000 円	17001 円～
1.当てはまる	12	11	0	0
2.少し当てはまる	31	19	0	0
3.どちらでもない	33	13	0	1
合計	76	43	0	1
比率	63.33%	35.83%	0.00%	0.83%

表 5-8 アンケートの要因 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」の 1～3 の回
答と持ち寄りたいと思うコートの購入時の値段の購入時の値段のクロス集計（人）（n=120）

項目 16 の回答	～10000 円	10001～ 20000 円	20001～ 40000 円	40001 円 ～
1.当てはまる	13	9	1	1
2.少し当てはまる	28	21	1	0
3.どちらでもない	29	16	0	1
合計	70	46	2	2
比率	58.33%	38.33%	1.67%	1.67%

表 5-9 アンケートの要因 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」の
1～3の回答と持ち寄っても良いと思うパンツ、ズボンの購入時の値段の購入時の
値段のクロス集計（人）（n=120）

項目 16 の回答	～5000 円	5001～ 10000 円	10001～ 25000 円	25001 円 ～
1.当てはまる	14	9	0	0
2.少し当てはまる	33	16	1	0
3.どちらでもない	32	14	0	1
合計	79	39	1	1
比率	65.83%	32.50%	0.83%	0.83%

5-4-1-2 項目 16 で 1～3 の回答と衣料が不要と思うときに関するクロス集計

衣料交換会への参加意欲が比較的にあると思われる、項目 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」で 1～3 を回答した回答者のみで、集計を行った。表 5-10 に示す。

全体で行った集計と 1 番多いもの「好み変化」と 2 番目に多い「長期汚れ傷み」は同じであるが、3 つ目に「流行おくれ」があるため、衣料を購入してから不要と思うまでの期間が、全体よりも短いと考えられる。

表 5-10 アンケートの要因 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」の 1～3 の回答と衣料を不要と感じるときのクロス集計（人）（n=120）

項目 16 の回答	好み変化	長期汚れ傷み	流行おくれ	サイズ変化	収納場所	新衣料購入	不意汚れ
1.当てはまる	16	10	7	6	10	6	3
2.少し当てはまる	37	24	15	27	21	10	7
3.どちらでもない	26	25	30	17	15	9	11
合計	79	59	52	50	46	25	21
比率	65.83%	49.17%	43.33%	41.67%	38.33%	20.83%	17.50%

5-4-1-3 項目 16 で 1～3 の回答とエピソードタグに関する質問項目のクロス集計

衣料交換会への参加意欲が比較的にあると思われる、項目 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」で 1～3 を回答した回答者のみで、集計を行った。表 5-11、表 5-12 に示す。

メッセージを書くことについて、良いと思う回答者の比率は全体の集計結果とあまり変わらない結果となった。

名前を書くことについても、全体の集計結果と同じような結果となった。

表 5-11 アンケートの要因 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」の 1～3 の回答とエピソードタグを書くことについてのクロス集計（人）（n=120）

項目 16 の回答	良い	書く面倒	考える面倒	内容無し
1.当てはまる	12	3	3	5
2.少し当てはまる	20	4	17	9
3.どちらでもない	12	5	10	20
合計	44	12	30	34
比率	36.67%	10.00%	25.00%	28.33%

表 5-12 アンケートの要因 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」の 1～3 の

回答とエピソードタグに名前などを書くことについてのクロス集計（人）（n=120）

項目 16 の回答	賛成	反対
1.当てはまる	10	13
2.少し当てはまる	12	38
3.どちらでもない	14	33
合計	36	84
比率	30.00%	70.00%

5-4-1-4 項目 16 で 1～3 の回答と開催頻度に関する質問項目のクロス集計

衣料交換会への参加意欲が比較的にあると思われる、項目 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」で 1～3 を回答した回答者のみで、集計を行った。表 5-13 に示す。

全体の集計結果と同じ、3 ヶ月に 1 回が最も多くなった。

表 5-13 アンケートの要因 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」の 1～3 の回答と適当な開催頻度（不要衣料を持ち寄る側）についてのクロス集計（人）（n=120）

	年 1 回	半年 1 回	3 ヶ月 1 回	2 カ月 1 回	月 1
1.当てはまる	4	5	9	1	4
2.少し当てはまる	6	17	22	3	2
3.どちらでもない	8	16	22	0	1
合計	18	38	53	4	7
比率	15.00%	31.67%	44.17%	3.33%	5.83%

5-4-2 項目 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」とアンケートⅣのクロス集計結果

5-4-2-1 項目 16 で 1～3 の回答と持ち帰りたい衣料のクロス集計

衣料交換会への参加意欲が比較的にあると思われる、項目 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」で 1～3 を回答した回答者のみで、集計を行った。表 5-14、表 5-15、表 5-16 に示す。

その結果、持ち帰りたいシャツの購入時に値段は、全体のクロス集計よりも少しではあるが「～3000 円」「3001～7000 円」の選択肢に多くの回答が集まった。

持ち帰りたいコートの購入時の値段も、最低価格帯の「～10000 円」では比率が減ったが、「～10000 円」「10001 円～20000 円」の選択肢に多くの回答が集まった。

持ち帰りたいパンツ、ズボンの購入時の値段も、全体の集計結果よりも比率が多い結果となった。

3 種類とも、最も低下価格帯では、比率が全体より下がり、2 つ目に低い価格帯で参加意欲のある方が比率は上がる傾向がある。

表 5-14 アンケートの要因 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」の 1～3 の回答と持ち帰りたいと思うシャツ（カッターシャツ，ブラウスなど）の購入時の値段についてのクロス集計（人）（n=120）

項目 16 の回答	～3000 円	3001～ 7000 円	7001～ 17000 円	17001 円 ～
1.当てはまる	10	11	1	1
2.少し当てはまる	22	24	4	0
3.どちらでもない	25	18	2	2
合計	57	53	7	3
比率	47.50%	44.17%	5.83%	2.50%

表 5-15 アンケートの要因 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」の 1～3 の回答と持ち帰りたいと思うコートの購入時の値段についてのクロス集計（人）（n=120）

項目 16 の回答	～10000 円	10001～ 20000 円	20001～ 40000 円	40001 円～
1.当てはまる	11	9	2	1
2.少し当てはまる	23	26	1	0
3.どちらでもない	25	18	3	1
合計	59	53	6	2
比率	49.17%	44.17%	5.00%	1.67%

表 5-16 アンケートの要因 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」の 1～3 の回答と持ち帰りたいと思うパンツ，ズボンの購入時の値段についてのクロス集計（人）（n=120）

項目 16 の回答	～5000 円	5001～ 10000 円	10001～ 25000 円	25001 円～
1.当てはまる	11	11	0	1
2.少し当てはまる	26	23	1	0
3.どちらでもない	27	16	3	1
合計	64	50	4	2
比率	53.3%	41.7%	3.3%	1.7%

5-4-2-2 項目 16 で 1～3 の回答と衣料を欲しいと思うときに関するクロス集計

衣料交換会への参加意欲が比較的にあると思われる，項目 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」で 1～3 を回答した回答者のみで，集計を行った．表 5-17 に示す．全体で行った集計と同じ並びの結果となった．

表 5-17 アンケートの要因 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」の 1～3 の回答と衣料を欲しいと感じるときについてのクロス集計（人）（n=120）

項目 16 の回答	良い衣料	好み変化	流行変化	サイズ変化	処分時	収納場所
1.当てはまる	18	14	8	4	3	3
2.少し当てはまる	41	28	21	6	2	3
3.どちらでもない	36	20	13	7	11	3
合計	95	62	42	17	16	9
比率	79.17%	51.67%	35.00%	14.17%	13.33%	7.50%

5-4-2-3 項目 16 で 1～3 の回答とエピソードタグに関する質問項目のクロス集計

衣料交換会への参加意欲が比較的にあると思われる、項目 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」で 1～3 を回答した回答者のみで、集計を行った。表 5-18、表 5-19 に示す。

衣料交換会に持ち寄られる衣料にメッセージや名前を書いたタグを付けることについて、良いと思う回答者の比率は全体のときとあまり変わらない結果となった。

名前を書くことについても、全体と同じような結果となった。

エピソードタグに名前を書くことで、衣料の前の所有者が分かる可能性があることに関して、全体の集計結果より賛成の比率が多くなるという結果となった。

表 5-18 アンケートの要因 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」の 1～3 の回答とエピソードタグを書くことについてのクロス集計（人）（n=120）

項目 16 の回答	大切にする	重たい	感じない
1.当てはまる	11	4	8
2.少し当てはまる	21	8	21
3.どちらでもない	14	13	20
合計	46	25	49
比率	38.33%	20.83%	40.83%

表 5-19 アンケートの要因 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」の 1～3 の

回答とエピソードタグに名前などを書くことについてのクロス集計（人）（n=120）

項目 16 の回答	賛成	反対
1.当てはまる	8	15
2.少し当てはまる	25	25
3.どちらでもない	19	28
合計	52	68
比率	43.33%	56.67%

5-4-2-4 項目 16 で 1～3 の回答と開催頻度に関する質問項目のクロス集計

衣料交換会への参加意欲が比較的にあると思われる、項目 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」で 1～3 を回答した回答者のみで、集計を行った。その結果を表 5-20 に示す。

表 5-20 アンケートの要因 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」の 1～3 の回答と適当な開催頻度についてのクロス集計（人）

項目 16 の回答	年 1 回	半年 1 回	3 ヶ月 1 回	2 カ月 1 回	月 1
1.当てはまる	2	4	12	2	3
2.少し当てはまる	6	15	23	4	2
3.どちらでもない	11	14	22	0	0
合計	19	33	57	6	5
比率	15.83%	27.50%	47.50%	5.00%	4.17%

5-4-3 項目 17「不要になった衣料を交換会に持ち寄りたいと思う」とアンケートⅢのクロス集計結果

5-4-3-1 項目 17 で 1～3 の回答と持ち寄りたい衣料のクロス集計

衣料交換会への参加し不要衣料を持ち寄る意思が比較的にあると思われる、項目 17「不要になった衣料を交換会に持ち寄りたいと思う」で 1～3 を回答した回答者のみで、集計を行った。表 5-21, 表 5-22, 表 5-23 に示す。

その結果、持ち寄りたいシャツの購入時に値段は、全体のクロス集計とほぼ同じような集計結果となった。

持ち寄りたいコートの購入時の値段も、最低価格帯の「～10000 円」では比率が減ったが、「～10000 円」「10001 円～20000 円」を合わせると、全体の集計結果より低価格帯に多く集まった。

持ち寄りたいパンツ、ズボンの購入時の値段も、全体の集計と同じような集計結果となった。

3 種類とも、最も低下価格帯では、比率が全体より下がり、2 つ目に低い価格帯で参加意欲のある方が比率は上がる傾向がある。

表 5-21 アンケートの項目 17「不要になった衣料を交換会に持ち寄りたいと思う」の 1～3 の回答と持ち寄りたいと思うシャツ（カッターシャツ，ブラウスなど）の購入時の値段のクロス集計（人）（n=128）

項目 17 の回答	～3000 円	3001～ 7000 円	7001～ 17000 円	17001 円～
1.当てはまる	13	7	0	0
2.少し当てはまる	32	26	0	1
3.どちらでもない	35	14	0	0
合計	80	47	0	1
比率	62.50%	36.72%	0.00%	0.78%

表 5-22 アンケートの項目 17「不要になった衣料を交換会に持ち寄りたいと思う」の 1～3 の回答と持ち寄りたいと思うコートの購入時の値段についてのクロス集計（人）（n=128）

項目 17 の回答	～10000 円	10001～ 20000 円	20001～ 40000 円	40001 円～
1.当てはまる	14	6	0	0
2.少し当てはまる	32	23	2	2
3.どちらでもない	33	16	0	0
合計	79	45	2	2
比率	61.72%	35.16%	1.56%	1.56%

表 5-23 アンケートの項目 17「不要になった衣料を交換会に持ち寄りたいと思う」の 1～3 の回答と持ち寄りたいと思うパンツ，ズボンの購入時の値段についてのクロス集計（人）（n=128）

項目 17 の回答	～5000 円	5001～ 10000 円	10001～ 25000 円	25001 円～
1.当てはまる	15	5	0	0
2.少し当てはまる	33	24	1	1
3.どちらでもない	35	14	0	0
合計	83	43	1	1
比率	64.84%	33.59%	0.78%	0.78%

5-4-3-2 項目 16 で 1～3 の回答と衣料を欲しいと思うときに関するクロス集計

衣料交換会への参加意欲が比較的にあると思われる，項目 16「今後，衣料交換会があれば参加したいと思う」で 1～3 を回答した回答者のみで，集計を行った．表 5-24 に示す．

全体で行った集計結果と、「流行のおくれ」と「新しい衣料の購入時」が逆になった以外はほぼ同じ並びの結果となった。

表 5-24 アンケートの項目 17「不要になった衣料を交換会に持ち寄りたいと思う」の 1～3 の回答と衣料を不要と感じるときについてのクロス集計（人）（n=128）

項目 17 の回答	好み変化	長期汚れ傷み	サイズ変化	収納場所	流行おくれ	新衣料購入	不意汚れ
1.当てはまる	15	8	5	9	7	5	3
2.少し当てはまる	43	28	30	24	16	13	10
3.どちらでもない	25	31	25	17	11	10	11
合計	83	67	60	50	34	28	24
比率	64.84%	52.34%	46.88%	39.06%	26.56%	21.88%	18.75%

5-4-3-3 項目 17 で 1～3 の回答とエピソードタグに関する質問項目のクロス集計

衣料交換会への参加意欲が比較的にあると思われる、項目 17「不要になった衣料を交換会に持ち寄りたいと思う」で 1～3 を回答した回答者のみで、集計を行った。表 5-25、表 5-26 に示す。

衣料交換会に持ち寄られる衣料にメッセージを書いたタグを付けることについて、良いと思う回答者の比率は全体のとときとあまり変わらない結果となった。

名前を書くことについても、全体と同じような結果となった。

表 5-25 アンケートの項目 17「不要になった衣料を交換会に持ち寄りたいと思う」の 1～3 の回答とエピソードタグを書くことについてのクロス集計（人）（n=128）

項目 17 の回答	良い	書く面倒	考える面倒	内容無し
1.当てはまる	8	3	2	7
2.少し当てはまる	24	4	19	12
3.どちらでもない	13	6	10	20
合計	45	13	31	39
比率	35.16%	10.16%	24.22%	30.47%

表 5-26 アンケートの項目 17「不要になった衣料を交換会に持ち寄りたいと思う」の

1～3の回答とエピソードタグに名前を書くことについてのクロス集計（人）（n=128）

項目 17 の回答	賛成	反対
1.当てはまる	8	12
2.少し当てはまる	14	45
3.どちらでもない	14	35
合計	36	92
比率	28.13%	71.88%

5-4-3-4 項目 16 で 1～3 の回答と開催頻度に関する質問項目のクロス集計

衣料交換会への参加意欲が比較的にあると思われる、項目 17「不要になった衣料を交換会に持ち寄りたいと思う」で 1～3 を回答した回答者のみで、集計を行った。その結果を表 5-27 に示す。

この結果についても、全体の集計とほぼ同じような結果となった。

表 5-27 アンケートの項目 17「不要になった衣料を交換会に持ち寄りたいと思う」の 1～3 の回答と適当な階差頻度についてのクロス集計（人）（n=127）

項目 17 の回答	年 1 回	半年 1 回	3 ヶ月 1 回	2 カ月 1 回	月 1
1.当てはまる	2	5	10	1	2
2.少し当てはまる	11	16	26	3	3
3.どちらでもない	7	19	21	0	1
合計	20	40	57	4	6
比率	15.75%	31.50%	44.88%	3.15%	4.72%

5-4-4 項目 18「他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持ち帰りたいと思う」とアンケートⅣのクロス集計結果

5-4-4-1 項目 18 で 1～3 の回答と持ち帰りたい衣料のクロス集計

衣料交換会への参加意欲が比較的にあると思われる、項目 18「他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持ち帰りたいと思う」で 1～3 を回答した回答者のみで、集計を行った。表 5-28、表 5-29、表 5-30 に示す。

その結果、3 種類とも、2 つ目までの低価格帯の選択肢に 90%以上の回答が集まり、全体の集計結果と同じような結果となった。

表 5-28 アンケートの項目 18「他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持ち帰りたい

と思う」の1～3の回答と持ち帰りたいと思うシャツ（カッターシャツ、ブラウスなど）の購入時の値段についてのクロス集計（人）（n=120）

項目 18 の回答	～3000 円	3001～ 7000 円	7001～ 17000 円	17001 円～
1.当てはまる	9	6	2	1
2.少し当てはまる	25	22	3	0
3.どちらでもない	23	23	3	3
合計	57	51	8	4
比率	47.50%	42.50%	6.67%	3.33%

表 5-29 アンケートの項目 18「他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持ち帰りたいと思う」の1～3の回答と持ち帰りたいと思うコートの購入時の値段についてのクロス集計（人）（n=120）

項目 18 の回答	～10000 円	10001～ 20000 円	20001～ 40000 円	40001 円～
1.当てはまる	8	8	1	1
2.少し当てはまる	27	22	1	0
3.どちらでもない	25	21	4	2
合計	60	51	6	3
比率	50.00%	42.50%	5.00%	2.50%

表 5-30 アンケートの項目 18「他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持ち帰りたいと思う」の1～3の回答と持ち帰りたいと思うパンツ、ズボンの購入時の値段についてのクロス集計（人）（n=120）

項目 18 の回答	～5000 円	5001～ 10000 円	10001～ 25000 円	25001 円～
1.当てはまる	10	6	0	2
2.少し当てはまる	27	23	0	0
3.どちらでもない	28	18	4	2
合計	65	47	4	4
比率	54.17%	39.17%	3.33%	3.33%

5-4-4-2 項目 18「他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持ち帰りたいと思う」で1～3の回答と衣料を欲しいと思うときに関するクロス集計

衣料交換会への参加意欲が比較的にあると思われる、項目 18「他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持ち帰りたいと思う」で1～3を回答した回答者のみで、集計を行った。

結果を表 5-31 に示す。

全体で行った集計と同じ並びの結果となった。

表 5-31 アンケートの項目 18「他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持ち帰りたいと思う」の 1～3 の回答と衣料を欲しいと感じるときについてのクロス集計 (人) (n=120)

項目 18 の回答	良い衣料	好み変化	流行変化	サイズ変化	処分時	収納場所
1.当てはまる	13	9	6	2	3	2
2.少し当てはまる	40	25	18	8	7	3
3.どちらでもない	39	22	15	12	9	4
合計	92	56	39	22	19	9
比率	76.67%	46.67%	32.50%	18.33%	15.83%	7.50%

5-4-4-3 項目 18「他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持ち帰りたいと思う」で 1～3 の回答とエピソードタグに関する質問項目のクロス集計

衣料交換会への参加意欲が比較的にあると思われる、項目 18「他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持ち帰りたいと思う」で 1～3 を回答した回答者のみで、集計を行った。結果を表 5-32、表 5-33 に示す。

衣料交換会に持ち寄られる衣料にメッセージや名前を書いたタグを付けることについて、「良い」と思う回答者の比率は全体のときより増加した。また、「何も感じない」と回答した回答者の比率は減ったが、「重たい」と感じる回答者の比率は増える結果となった。名前を書くことについても、全体の集計時結果と同じ反対多い結果となった。

表 5-32 アンケートの項目 18「他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持ち帰りたいと思う」の 1～3 の回答とエピソードタグを書くことについてのクロス集計 (人) (n=120)

項目 18 の回答	大切にする	重たい	感じない
1.当てはまる	10	3	5
2.少し当てはまる	22	8	20
3.どちらでもない	16	16	20
合計	48	27	45
比率	40.00%	22.50%	37.50%

表 5-33 アンケートの項目 18「他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持ち

帰りたいと思う」の1～3の回答とエピソードタグに名前などを書くことについての
クロス集計（人）（n=120）

項目 18 の回答	賛成	反対
1.当てはまる	8	10
2.少し当てはまる	21	29
3.どちらでもない	20	32
合計	49	71
比率	40.83%	59.17%

5-4-4-4 項目 18 で1～3の回答と開催頻度に関する質問項目のクロス集計

衣料交換会への参加意欲が比較的にあると思われる、項目 18「他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持ち帰りたいと思う」で1～3を回答した回答者のみで、集計を行った。その結果を表 5-34 に示す。

この結果、全体の集計結果と同じ「3ヶ月に1回」「半年に1回」に多くの回答が集まった。

表 5-34 アンケートの項目 18「他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持ち帰りたいと思う」の1～3の回答と適当な開催頻度についてのクロス集計（人）（n=120）

項目 18 の回答	年1回	半年1回	3ヶ月1回	2カ月1回	月1
1.当てはまる	2	3	9	2	2
2.少し当てはまる	7	12	27	3	1
3.どちらでもない	11	17	22	1	1
合計	20	32	58	6	4
比率	16.67%	26.67%	48.33%	5.00%	3.33%

<参考文献>

- 1) 小塩真司:SPSS と Amos による心理調査データ解析—因子分析・共分散構造分析まで—, 東京図書, (2005)
- 2) 堤侑加:滋賀県立大学生のマイバック使用動機とマイバック持参率向上に向けた方策の提案, 滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学部 2012 年度卒業論文 (2013)

第六章 結論

6-1 本研究の結論

本研究の目的は、以下の3つである。

目的1：大学生の衣料交換会への参加状況を把握する

目的2：大学生の衣料交換会に対する意識を把握する

目的3：今後の衣料交換会の大学生への普及の可能性について調査し、提案する。

6-1-1 目的1「大学生の衣料交換会への参加状況を把握する」の結論

衣料交換会の開催場所に入るが、交換行動をしない参加者が多数みられる。

衣料交換会では、気軽に羽織ったりすることができるジャケットやコート、シャツがおおく交換された。衣料を無料でもらえることに抵抗がある人も多いと考えられる。また、大学内で衣料交換会を実施しているため、不要衣料を待ち寄る人と持ち帰る人の距離が近く、大学内で会う可能性があることに抵抗があるとも考えられる。

6-1-2 目的2「大学生の衣料交換会に対する意識を把握する」の結論

衣料交換会のイメージに関する質問項目(5-3)で述べたように、衣料として長期間使用することが環境配慮につながると考える回答者は多い。また、衣料交換会へのファッション性の期待や、気軽に衣料を処分し入手できるといった利便性への期待がある一方、衛生面では不安であると考えられる人が多いと考えられる。

6-1-3 目的3「今後の衣料交換会の大学生への普及の可能性について調査し、提案する」の結論

(1) 項目16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」の重回帰分析の結論

項目16は、因子1の社会性が高いほど参加意欲は高まる。因子3の開催日への意識が高いほど参加意欲が高まる。因子4の衣料交換会に衣料の入手手段を求めている方が参加意欲は高まる。居住形態が下宿生である方が参加意欲は高まる。また、因子2の衛生性が高いほど参加意欲は縮小する。

一方、相関が認められなかった項目は、「性別」「所属学部」が挙げられた。

(2) 項目17「不要になった衣料を交換会に持ち寄りたいと思う」の重回帰分析の結論

項目17は、因子1の社会性が高いほど参加意欲は高まる。因子3の開催日への意識が高いほど参加意欲が高まる。因子4の衣料交換会に衣料の入手手段を求めている方が参加意欲は高まる。居住形態が下宿生である方が参加意欲は高まる。また、因子2の衛生性が高いほど参加意欲は縮小する。

一方、相関が認められなかった項目は、「性別」「所属学部」が挙げられた。

(3) 項目 18「他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持って帰りたいと思う」の重回帰分析の結論

項目 18 は、因子 1 の社会性が高いほど参加意欲は高まる。因子 3 の開催日への意識が高いほど参加意欲が高まる。因子 4 の衣料交換会に衣料の入手手段を求めている方が参加意欲は高まるまた、因子 2 の衛生性が高いほど参加意欲は縮小する。

一方、相関が認められなかった項目は、「居住形態」「性別」「所属学部」が挙げられた。

(4) 衣料交換会で交換される衣料に関する結論

衣料交換会に持ち寄られる衣料に関する質問項目では、例として取り上げた 3 種類の衣料の全てが 2 つ目に低価格の選択肢までに 95% 近く集中する結果となった。また、衣料交換会で持ち帰られる衣料は、例として取り上げた 3 種類の衣料の全てが選択回答のうち 2 つ目までに低価格帯の選択肢までに 90% が集中する結果となった。

この結果から、持ち寄られると考えられる衣料と、持ち帰られると考えられる衣料の価格帯は一致するため、比較的低価格帯の衣料が持ち寄られると衣料交換会で交換行動を増加すると考えられる。

(5) 衣料交換会で交換される衣料に付けられるエピソードタグに関する考察

xChange で交換される衣料に付けられるエピソードタグに関しては、持ち帰る側の分析では「大切に作る」40.00%、「重たく感じる」22.50%、「何も感じない」37.50%という比率であったが、持ち寄る側では「良いと思う」35.16%、「書くことが面倒」10.16%、「書く内容を考えることが面倒」24.22%、「書く内容がない」30.47%という結果になり、60%以上がメッセージを書くことに消極的であると考えられる。

また、名前を書くことに関しても、両者ともに消極的であることから、大学生を対象とする衣料交換会においては、メッセージや名前が書かれたタグを用いないほうが、参加者が増加すると考えられる。

アンケートのⅡの衣料交換会のイメージの質問では、エピソードタグに関して良いイメージの回答が多かった。しかし、実際に衣料交換会に参加することを想定した項目（アンケートのⅢ、Ⅳ）では、エピソードタグに関して消極的な回答が多く見られた。これらのことから、実際に大学生を対象に衣料交換会実施する場合、エピソードタグなどがない方が良いという結果となった。

(6) 衣料交換会の開催頻度に関する考察

衣料交換会に衣料を持ち寄る側、持ち帰る側ともに、最も多い回答は「3ヶ月に1回」で、次に「半年に1回」、「年に1回」、「月に1回」、「2カ月に1回」という順となった。

この結果、ともに「3ヶ月に1回」から「半年に1回」が適當の開催頻度であると考えられる。

6-2 本研究を通して衣料交換会を大学生へ普及させるための提案

6-1-2 で述べたように、衣料として長期間扱うことが環境配慮につながると考える回答者は多く、衣料交換会へのファッション性の期待や気軽に衣料を処分し入手できるといった利便性への期待をもつ回答者が多いことから、衣料交換会が大学生にも受け入れられると考えられる。

xChange はもともと「人や地域の繋がりを豊かにし、所有から共有へ、循環型の社会へのシフトを促すことを目的」としているが、6-1-3 の (1) ~ (3) で述べたことから大学生は衣料交換会を、人とのつながる場と捉えるより、衣料交換会を不要衣料の処分や衣料の入手の手段と考える人が来ることがわかる。

居住形態に関しては、下宿生である方が気軽に来られることが分かる。また、重回帰分析の結果の場合はタグに関して積極的な考えも持つ人が衣料交換会に来やすいことが分かる。また、(2) の不要衣料を持ち寄る側では、女性の方が不要衣料を持ち寄りやすいことがわかる。

しかし、6-1-2 や 6-1-3 の結果から、衣料交換会に対して、衛生面では不安であると考えられる人が多くと考えられるため、不要衣料をクリーニングしてから持ち寄ることを徹底するための仕組みが必要である。

6-1-3 の (4) ~ (6) で述べたとおり、大学生を対象とした衣料交換会で交換される衣料は、持ち寄る側も持ち帰る側も、シャツ（カッターシャツ・ブラウスなど）では 7000 円以下の衣料、コートでは 20000 円以下の衣料、パンツ・デニムでは 10000 円以下の衣料であり、全体的に比較的到低価格の衣料が好まれる。クロス集計の結果では前回の所有者のメッセージや名前を書いたタグに関しては、持ち寄る側の考えとして消極的な回答が多くなったので、メッセージや名前が書いてあるタグなどを付けないほうが、大学生の場合は気軽に参加することができる。また、開催頻度については、3 ヶ月に 1 回から半年に 1 回が適当である。

6-3 今後の課題

本研究では、課題が挙げられる。

衣料交換会を提案するところで終えている。そのため実際にこの衣料交換会で参加者が相互の交換行動を行うか測定が必要である。

また、本研究では滋賀県内で衣料交換会を開催している団体のヒアリングのみのため、その団体が抱えている課題である、若い世代の参加者が少ないことを解決するためのみの研究となってしまった。しかし衣料交換会は大学生以外の世代にも普及してるとはいえないため、他の世代への普及は今後の課題である。

謝辞

本研究を進めるにあたり、ご協力いただいた方々に心よりお礼申し上げます。

ヒアリング調査では、ご多忙の中、Link+滋賀の皆様には丁寧で分かりやすく xChange について説明をいただきました。大学の教務や生協の方にも、社会実験やアンケート調査を実施するに当たり、お世話になりありがとうございました。

金谷先生には、研究に関する質問に対して、どんな時でも丁寧にアドバイスをしていたとき、本当に感謝しています。ゼミ後の食堂などで、研究以外のことも気さくに話していただいたことがとても良い思い出です。先生のおかげで最後まで研究をすることができました。私は1年でしたが、ご指導いただき、本当にありがとうございました。審査をしていた村上新先生、的確なご指摘をしていただきありがとうございました。質問に行くといつも私の研究について親身になって考えて、アドバイスをいただいたため、卒業論文を完成させることができたと思います。3回生のときゼミの先生だった近藤先生、ゼミではいつも他の先生とは違ったアドバイスをいただきありがとうございました。いろんな発見がありました。研究のテーマである xChange を教えていただいたのも近藤先生でした。ゼミの毎月の飲み会ではとても気さくに話していただき楽しく、良い思い出です。

金谷研究室でともに過ごした蟹江さん、北川君、姜さん、鈴木君、中山さんには、大変お世話になりました。4回の4月から少し遅れて同じゼミ生になり不安だった私を、始めからいたように受け入れていただき、とても楽しい1年になりました。近藤研究室に所属していた平野君、村瀬さん、森岡さんには、私の研究の社会実験をいつも手伝っていただいたり、とてもお世話になりました。ゼミが解体されてからもゼミ室に集まったり、最後まで私の心の支えでした。卒業後もぜひ集まりたいです。金谷研究室、近藤研究室のみなさん、本当にありがとうございました。

また、他の研究室の友達もとても愉快で、楽しい4年間を過ごしました。

そして、このような大学に進学させてくれた母親や祖父母、兄にもとても感謝しています。今まで、私がやりたいことをさせていただき、いつもあたたかく見守っていただきありがとうございました。これからは社会人として、今までの恩を返していけるよう努めます。

最後に、本研究を進めるにあたってお世話になった皆様に改めて深く御礼申し上げます。ありがとうございました。

2016年2月25日

鎌田早紀